

大阪市立大学

ラグビー部マガジン

Rugby

club magazine 2020

Vol. 10

100年目、悲願の
Bリーグ復帰へ

-CONTENTS-

ワールドカップ
芝生化計画
クラブハウス紹介
リーグ戦
三商大戦
主将副将インタビュー
ROOKIES
チームスタッフの仕事
コーチ紹介
入試情報
メンバー紹介
年間スケジュール
就職状況
100周年に寄せて
部歌

日本代表の躍進に

続け!!!

大阪市立大学ラグビー部
創部 100 年



「大阪市立大学ラグビー部 理念・方針・指針」

1：活動理念

- ・創部の精神（部歌）を継承する
- ・ラグビーを通じて社会貢献できる人材を育成する

2：活動方針

-クラブ総和を旨とし-

- ・ラグビーを通じて心技体を鍛え、チームに貢献する
- ・個はチームの為、チームは掲げる目標・理念に向けて邁進する
- ・文武両道を実践する
- ・上部リーグと国公立大学最強を目指す
- ・困難に挑戦する

3：行動指針

- ・礼節を重んじ、規律を遵守する
- ・コミュニケーション力を高める
- ・自主性と向上心を持ち続ける

2020年4月発行

発行：大阪市立大学ラグビー部

編集：北條佑介・一森亮佑・崎山皓平・平井僚・森本礼貴・相田圭祐

問い合わせ先

mail：ocurugby@gmail.com

HP：https://ocurfc.com/



W杯日本大会

強国相手に全勝

日本 30 [12 - 7] 10 ロシア
[18 - 3]

日本 19 [9 - 12] 12 アイルランド
[10 - 0]

日本 38 [16 - 9] 19 サモア
[22 - 10]

日本 28 [21 - 7] 21 スコットランド
[7 - 14]

日本 3 [3 - 5] 26 南アフリカ
[0 - 21]

世界三大スポーツイベントの一つであるラグビーワールドカップが昨年、2019年にアジアで初となる日本大会が開催された。日本代表は自国開催の活気もあり予選リーグの厳しい戦いも乗り越えて、見事全勝を収め、初のベスト8進出を成し遂げた。

予選リーグでは大会前世界ランキング1位だったアイルランドを撃破し、前回大会でベスト8進出を阻まれたスコットランドにも勝利し涙の決勝トーナメント進出を果たした。

決勝トーナメントでは今大会優勝した南アフリカと一回戦で戦い無念の敗退となったが日本の躍進にラグビー関係者だけでなく日本中が勇気づけられる大躍進の年となった。



(日本が世界ランク当時1位のアイルランドを撃破) 1

体育会OBが尽力 活動を本格化

現在、全天候型グラウンド整備プロジェクトが市大創立100周年事業の一環として進んでいる。

本事業は市大の体育会OB連合会「OCUSA（スポーツアンソニエーション）」が主体となって大学側に提案し、夢基金を利用して寄付金を募っている。部活動ではラグビー部の他、サッカー部やアメフト部なども利用するのに加え、授業でも利用することから幅広く寄附を呼び掛けている。全天候型グラウンドは完成すれば関西公立大初の設備だ。

ラグビー部ではOBクラブ幹事長で、OCUSA副会長でもある吉田祐一氏（S62年卒）がこのプロジェクトを推進している。

実現すれば市大も夢の人工芝を手に入れる。泥まみれになつての練習も終わりに近づいていると言っているだろう。人工芝による効果は計り知れないものがあるが、完成までにその設備に恥じぬ、名実共に充実したラグビー部に成長したい。

ついに始動！ 関西公立大初の 人工芝へ

全天候型グラウンド整備プロジェクト



充実した クラブハウス



このクラブハウスは創部60周年（1980年）にOB会から寄贈された。

また100周年の今年、OBの寄附により畳だった2階のフロアリング化・シャワールームの修理・外壁の塗り直しといった大改修をしていただいた。

これによって更に部室は快適となり、充実したラグビー生活を送れることは間違いない。紙面を借りてOB諸兄に深く感謝したい。



市大ラグビー部にはなんとラグビー部単独のクラブハウスが存在する。中にはシャワールーム、エアコン、冷蔵庫、テレビにベランダもついていてとても快適な部室となっている。特に2階の部屋ではミーティングや、テレビで試合の動画を見ながら反省をしたりもできる。洗濯機もあるので練習後には汚れた服をそのまま洗濯することが可能で、快適な部活動を行うには十分な設備が整っていると
言える。



一次リーグ突破!!

10年振りのBC入替戦へ

今年のリーグ戦は、ラグビーW杯の関係で例年より早い9月8日が開幕戦となった。

初戦では、多くの課題が浮き彫りとなり、幸先の良いスタートとはいかなかったが、次戦の滋賀大学戦ではディフェンス面での課題を克服し、無失点で勝利した。しかし、第3節の関西外国語大学戦で接戦となり、敗北してしまう。これにより、残りの2試合を勝たなければ入れ替え戦にいけない状況に追い込まれた。しかし、それでも次戦の神戸学院大学、最終節の大阪大学の両校に見事勝利し、市大ラグビー部としては10年ぶりとなるBC入れ替え戦出場を決めた。



一次リーグ

VS 流通科学大学 (C11位)	55024
VS 滋賀大学 (C9位)	7600
VS 関西外国語大学 (C5位)	31●33
VS 神戸学院大学 (C8位)	7200
VS 大阪大学 (C3位)	21017



二次リーグ (上位リーグ)

VS 大阪工業大学 (C2位・B昇格)	10●22
VS 大阪大学 (C3位)	23●40
VS 甲南大学 (C1位・B昇格)	22●25

4勝4敗4位

2次リーグでは、市大は苦しい試合を重ねることになる。

初戦の大阪工業大学では、1次リーグで鍛えたディフェンス面で一定の成果を発揮するも、細かいミスが重なり敗戦。次戦の大阪大学戦は、前半は20-12でリードするも、後半に走り切るこゝとができず、また相手の豊富なリザーブ陣の投入も重なり、結果としては40-23と大差をつけられての敗戦となる。最後の甲南大学戦では、前2戦の反省を生かして、1週間の間でフィットネス面を強化。2次リーグの中では最も良い試合内容ではあったが、最後で勝ちきれず、22-25で敗北となった。これにより市大は、Cリーグ4位となり、入れ替え戦の相手はBリーグ9位の花園大学に決定した。

あと一步・・・

超えられなかった壁

当日は天候にも恵まれ、大勢のOBが駆けつけてくれた。市大は序盤から、磨き上げてきたアタックシステムで得点するも、花園大学の強みである外国人留学生のフィジカルに圧倒され、前半だけで19点差を付けられる。

しかし、後半は失点の原因を修正してダブルタックルで相手の強みを封じ、逆に市大自慢のフィットネスと運動量で、最後まで花園大学を苦しみ続けた。結果としては前半の失点が響き、29-12で敗北したが、後半だけではほぼ互角の戦いを見せ、1年間積み上げたものを存分に発揮できたと言えるだろう。

念願のBリーグ復帰は叶わなかったが、Bリーグのチーム相手に通用した部分も多く、自信を得ることができた。しかしBリーグで戦うためのフィジカルとスキル不足を痛感する結果ともなった。3年生以下はこの悔しさを忘れず、今年とは同じ舞台でうれし涙を流せるように更なる厳しい練習に取り組んでいく。



伝統の三商大戦



17年越しの...

単独優勝



三商大戦トロフィー

昭和7年(1932年)に故矢頭宏之先輩(大正11年大阪高商卒)から三商大ラグビーに寄贈された。氏が同年11月南アフリカ共和国ヨハネスブルグにおける世界選手権を観戦され、その際に購入されたフランス製ブロンズトロフィーとの事である。

三商大戦トロフィーの歴史

2012年以降の市大成績と優勝校

	vs 神戸	vs 一橋	市大	優勝
2019	○ 40-29	○ 64-0	1位	市大
2018	○ 45-29	● 24-38	2位	一橋
2017	○ 27-26	● 14-57	2位	一橋
2016	● 33-34	● 0-55	3位	一橋
2015	● 22-28	● 14-43	3位	一橋
2014	● 0-53	● 7-59	3位	一橋
2013	○ 26-12	● 10-38	2位	一橋
2012	● 7-14	● 5-26	3位	一橋

6月30日神戸大学戦、前半市大は33-5と大きくリード、神戸大は後半は7-24と追い上げるも、そのまま市大が逃げ切り40-129で勝利。そして来る12月21日一橋戦、市大は前後半通して攻守ともに一橋を圧倒。64-10と大勝を収め、17年振りの三商大戦単独優勝を成し遂げ、1年を締めくくった。

試合内容

背中
で
語る
男

市大悲願のB復帰

2020年度 主将
北條 佑介
CAPTAIN

後悔ない
大学生活へ
の選択をし
ましょう！

こんにちはーラグビー部マガジンを読んでくれてありがとうございます。3月はコロナの影響で全体練習もできない中、個人で自主練習動画を上げ合い楽しみながら切磋琢磨しています。

新入生の皆さんはしんどい受験を終え、大学生活をどう充実させるか迷っているところだと思います。「サークルで楽しんだり、思いっきりだらける」。もちろん良いと思います。実際僕も入学当初「サークルで楽しむぞ！」という思いでした(笑)。しかし今はラグビー部がかけがえのない居場所となつています。仲間と共に目標に向かい、本気で熱中することがこんなにも楽しいとは思っていませんでした(笑)。

仲間のためのプレーが重視されるラグビーというスポーツだからこそなのかも知れませんが、是非後悔な何かに打ち込んでみるのも良いですよ！是非後悔ない大学生活を送るための選択をしてください！

進化した頭脳派ラグビー

得点源「テトラポッド」の強化とハイアツプディフェンス

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます！市大ラグビー部はBリーグ復帰を目指して練習に取り組んでいます。

我々の強みとしては、まず充実したコーチ陣です。社会人選手としても経験のあるコーチ陣4名による手厚い指導で、レベルの高い練習を積むことができます。そんな僕たちが特に力を入れて取り組んでいるのが「ロコシステム」です。15人が互いにコミュニケーションを取り合い、前に出ながらディフェンスをすることで、相手にプレッシャーをかけ続けます。アタック面では、近年世界の強豪国も取り入れている「テトラポッド」というシステムを導入しています。スタミナが必要で難しいシステムですが、これにより効率的な得点と相手を翻弄させることができます。

これらのシステムは、いずれも高いコミュニケーションが不可欠ですが、部員同士仲が良く、常に向上心のある市大ラグビー部だからこそ、このようなシステムを導入することができています。

ラグビーは体ももちろん大事ですが、頭を非常に使うスポーツです。日本代表のように論理的な作戦を立てることで、格上の相手も倒せるようになります。

心身共に磨き上げられる、紳士のスポーツに少しでも興味をもったなら、ぜひグラウンドに来てください！



チームの心臓
副将 一森亮佑





期待の新人

ののはらもえが **野々原 明夏** (法)
 いしざかきな **石坂 生菜** (商)
 のがわたもん **野川 多聞** (工・機械工)
 にしがきよしあき **西垣 慶昭** (経済)
 いけうちゆうたろう **池内 優太郎** (法)
 あさいゆういち **浅井 優一** (文)
 にしざかようすけ **西坂 耀介** (経済)
 きよやましゆんすけ **清山 峻輔** (経済)
 もりはるの **森 春乃** (理・化学)

たかむらえり **高村 恵理** (生科・居住)
 たかはいっせい **高橋 一誠** (経済)
 さわだゆうた **澤田 優太** (経済)
 あいだけいすけ **相田 圭祐** (法)
 ことうたかあき **後藤 嵩陽** (工・機械工)
 とみおかようへい **富岡 鷹平** (経済)
 おおやまあかね **大山 明音** (工・バイオ)
 けし手い **芥子 舞** (理・生物)

大学生活をラグビーと共に

今年も期待の新人が数多く入部してきました。例年にはない数の多さ、体格にスピードを持つ選手が多数存在し、Bリーグ復帰には必要不可欠となる期待の新世代だ。今シーズン、市大ラグビー部は三商大戦優勝、入れ替え戦進出と大きく躍進した。その中でも、先輩と引けを取らない力量を発揮した下級生の追い上げがこのような良い戦績を残したのだろう。特に新人賞を獲得した池内はフィールドプレーは勿論の事、一回生のフィジカルケア、コミュニケーションの面でも類稀な素晴らしい関係を築き上げてくれた。スクラムを引っ張る野川、無尽蔵に駆け回る後藤、ステップと調子に乗りやすい富岡など今後の活躍に期待できる選手も多々存在している。

経験者だけでなく今年が初心者入部も大きな躍進のきっかけになった。彼らは違うスポーツから、各々ラグビーに魅了され現在進化を遂げようとしている。経験者と初心者、さらに部内最多のマネージャー、黄金世代の可能性を秘めた期待の世代である。



Rookie of the Year 新人賞

攻守に活躍

新人賞にはチームのために常に体を張り続けた池内優太郎が選出された。





トレーナーの主な仕事はプレイヤーの怪我の防止をしたり、悪化を防いだりするためのテーピングや、怪我をした時の応急処置である。
最初は怪我への対応に戸惑ったり、テーピングが上手く出来ないかも知れないけれど、先輩が丁寧に教えてくれるし、選手もできるまで待ってくれるので怖がらずにチャレンジして欲しい。
怪我の対処法についての知識が付き、将来にも役立つ経験にきつとなるだろう。



Staff

Analyst アナリスト



アナリストの主な仕事は練習や試合の動画を撮ることや、その練習や試合のデータをとることであり、文字通りラグビーを分析することである。
選手達はこの動画を見て反省点を見つけたり、データを見てモチベーションを上げたりする。
幹部陣やコーチも動画やデータを参考にチームの強化ポイントを見つけ、練習メニューを考える。そのためにもアナリストは市大ラグビー部が強くなり続けるには必要不可欠な存在である。

ONE TEAM !!

プレイヤーは自分たちだけで戦っているわけではない。私たちがより快適に、より効率的に練習をし、試合に臨むためにはチームスタッフの存在が欠かせない。怪我の防止やアフターケア、練習や試合の動画撮影、体重やウェイトトレーニングの数値管理といったプレイヤーのラグビー生活に直接関わるものから、ラグビー部の会計管理、ホームページ更新やSNSなどの広報活動などのクラブ運営に至るまで幅広い仕事をこなしてくれている。

昨年までは役割を明確に分けず、全員が交代で仕事に当たっていたが、今年からは効率化のためトレーナーとアナリストという役割を作るという新たな試みに出た。

わざわざチームスタッフではなく、自分で運動がしたい、面倒そうなチームスタッフやるなら他のサークルの方がいいと思う人もいるかもしれない。しかし、熱く充実した大学生活、部員同士の絆、そして何より他人をサポートすることで得られる自分自身の成長というものはここでしか手に入らないものである。実際に「正直、大変なこともあるけれど試合に勝ったり、良いプレーを見る自分のことのように嬉しい。そして、それがチームスタッフとしての私の一番のやりがいになっている。」と4年生スタッフの黒部CTSは語る。

プレイヤー、コーチ、そしてチームスタッフ全員が1つになって戦うまさに「ONE TEAM」を是非一緒に作っていきましょう！

入試情報

大阪市立大学は、市立の大学で最も歴史が古く、公立大学として最も規模が大きい大学です。8学部を設置する総合大学であり、幅広い分野で学習することができます。

市大8学部の紹介

- 商学部：経営・会計・商業
- 経済学部：経済・財政・金融
- 法学部：憲法・民法・刑法
- 文学部：文学・社会・哲学
- 理学部：物理・化学・数学
- 工学部：機械・電気・建築
- 医学部：医学・看護
- 生活科学部：栄養・居住・福祉

※ここに挙げたキーワードはほんの一部だし、抽象的な言葉だ。それに理学部や工学部はさらに複数の学科に分かれる。また、農学部や薬学部、教育学部、体育学部など市大にない学科もある。

正直なところ、大学選びは成績依存度が大きい。特別な場合を除いて、東大に入れる実力があるのに、わざわざ他の大学に行く必要はないということだ。一方で、学部は自由に選べる。将来の仕事に直結しないにしても、人生で大きな舵を切ることに違いない。センター試験がなくなり、入試制度は変わるが、大学で学ぶことが変わることはない。少なくともどここの学部でどんな勉強をするのかは知っておきたい。

独断と偏見で、市大8学部のキーワードを挙げてみた。気になる学部があったらとにかくインタビューネットでも何でもいから調べてみよう。どんな勉強をするのか、卒業後はどんな道があるのか。大学への第一歩今日踏み出せるなら、今日踏み出そう。



市大を支える

頭脳

システム
構築の要

大躍進

の秘密



- ① 役職
- ② 出身高校
- ③ 出身大学
- ④ 現役時代のポジション

服部 淳 Jun Hattori



- ① ヘッドコーチ
- ② 神戸高校
- ③ 市大・商 S63 卒
- ④ FB

中川 晃一 Koichi Nakagawa



- ① FW コーチ
- ② 天王寺高校
- ③ 市大・経 H3 卒
- ④ FL/HO

北島 裕也 Yuya Kitajima



- ① BK コーチ
- ② 膳所高校
- ③ 市大・経 H13 卒
- ④ CTB

山岡 正典 Masanori Yamaoka



- ① BK コーチ
- ② 天理高校
- ③ 早稲田大学
- ④ WTB

「コーチ陣は、学生がキャプテンを中心に目標を立て、達成するためのプロセスをフォローワーとしてサポートします。学生が目標達成した時は、自分の事のように心から喜びますし、感動します。また学生から教えられることも多々あり、コーチと学生がお互い尊重しながら、人として成長していきます。」服部HCはこう語ってくれた。

このようにコーチ陣は学生主体の練習を常に心がけ、我々の自主性を高めることで人間としての成長もサポートしてくれている。

同時にコーチ陣は市大ラグビーシステム構築の要であり、市大ラグビー部が勝つための準備に全力を尽くしてくれている。新入生の皆さん、このリーグ最高水準のコーチ陣の下で成長し、目標に向かって4年間駆け抜けてみてはどうだろうか。

私たちは
あくまでもサポーター役

3 回生プレイヤー



- ①徳田雄彦 WTB/SO
- ②175cm/80kg
- ③三島→工・電情
- ④沢尻エリカ

⑤一緒に頑張りましょう



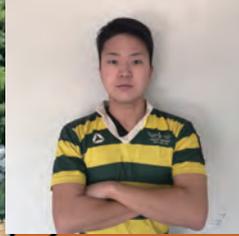
- ①平井僚 LO/FL
- ②181cm/88kg
- ③畝傍→経済
- ④永野芽郁

⑤ラグビーは心も体も大きくさせてくれます！
経験ある子も今までやったことない子もぜひ一度
ラグビー部に顔出して下さい！一緒に大学生活を
満喫しましょう(^^)



- ①寶田博貴 SH/WTB
- ②169cm/80kg
- ③宮崎大宮→経済
- ④山下耀子

⑤充実した大学生活を送ろう



- ①森本礼貴 FL/WTB
- ②170cm/71kg
- ③畝傍→工・バイオ
- ④橋本環奈

⑤新入生の皆さんご入学おめでとうございます。
大学で何をしようかと迷っている皆さん、ぜひ一度
ラグビー部に足を運んでみてください。



New Member!

- ①大賀弘人 PR/HO
- ②168cm/80kg
- ③神戸→法
- ④永野芽郁

⑤新メンバーとしての意気込み：
レギュラー獲得を目指してがんばります！

部員紹介

①氏名 ポジション ②身長/体重 ③出身校→学部・学科 ④好き芸人のひとこと

4 回生プレイヤー



- ①一森亮佑 SH/SO
- ②177cm/80kg
- ③畝傍→法
- ④アイナ・ジ・エンド

⑤新入生の皆さん、入学おめでとう！ラグビーは、真剣に
取り組むことで社会性や人間力も鍛えることができる
素晴らしいスポーツです！
初心者でも大歓迎なので、是非一度グラウンドに
来てください！



- ①北條佑介 LO/No.8
- ②190cm/95kg
- ③住吉→工・機械工
- ④新木優子

⑤今の日本でラグビーやらないとが遅れてるぞ！！



- ①崎山皓平 CTB/WTB
- ②171cm/80kg
- ③八尾→工・電情
- ④浜辺美波

⑤入学おめでとう！
最高に熱い4年間をラグビー部で過ごしませんか？
ぜひ待ってます！！



- ①平田康樹 PR
- ②172cm/107kg
- ③愛知→法
- ④真木よう子

⑤初心者でも強くデカくなれます！みんなで楽しく強い男に
なりましょう！



- ①岩木勇生 CTB/WTB
- ②176cm/81kg
- ③北摂三田→工・都市
- ④小松菜奈

⑤いま流行のラグビーに興味はありませんか？
プレイヤー・マネージャー・トレーナー共に大学生活を
充実させましょう！

部員紹介

①氏名 ポジション ②身長/体重 ③出身校→学部・学科 ④好き芸 ⑤ひとこと

2 回生プレイヤー



- ①西坂耀介 CTB/WTB
- ②177cm/85kg
- ③広島城北→経済
- ④高畑充希

⑤一緒にムキムキになっちゃいましょう



- ①浅井優一 LO
- ②175cm/81kg
- ③向陽→文
- ④能年玲奈

⑤初心者の方も、大変ではありますが楽しくラグビーができます！ぜひ新歓来ててください！！



- ①西垣慶昭 PR/LO
- ②174cm/89kg
- ③鳥羽→経済
- ④大地真央

⑤ラグビーやったらハマること間違いなし！！



- ①野川多聞 HO/PR
- ②174cm/101kg
- ③関大第一→工・機械
- ④小島瑠璃子

⑤学生としての最後の4年間、ラグビー部で楽しい大学生活を送りませんか？大学生になって勉強が忙しくなるから部活は無理、なんて思っている人や初心者でも大丈夫！是非ラグビー部の新歓に来てみてください。



- ①高橋一誠 WTB/SH
- ②173cm/79kg
- ③新居浜西→経済
- ④三吉彩花

⑤僕も大学から始めましたが、とても楽しいスポーツで熱くなれます！



- ①富岡鷹平 WTB/FB
- ②172cm/80kg
- ③高槻→経済
- ④川口春奈

⑤ラグビーして大学生活を充実させましょう！



- ①池内優太朗 LO
- ②180cm/93kg
- ③茨木→法
- ④広瀬すず

⑤ラグビーは最高に熱くなれるスポーツなので初心者の方もぜひ！



- ①澤田優太 PR
- ②168cm/92kg
- ③金沢泉丘→経済
- ④綾瀬はるか

⑤新入生の皆さん！ラグビー部に興味持ってくれてありがとうございます(^^) 市大ラグビー部は初心者、経験者関係なく共に高みを目指していけるアツい人を待っています！！

院1プレイヤー



- ①山口浩輝 FL
- ②175cm/85kg
- ③千里→工・バイオ
- ④川口春奈

⑤ラグビー最高！



- ①清山峻輔 WTB
- ②172cm/70kg
- ③畝傍→経済
- ④本田翼

⑤大学で何もやることがないと思ったら一度ラグビー部に来てみて下さい。



- ①後藤高陽 FL
- ②173cm/78kg
- ③北摂三田→工・機械
- ④有村架純

⑤ぜひ一緒にラグビーを楽しみましょう！



- ①相田圭祐 HO
- ②166cm/80kg
- ③四日市→法
- ④橋本環奈

⑤初心者も経験者も一緒に楽しくできるのがラグビーの魅力です！ラグビー部で充実した最高の大学生活を送りましょう！

部員紹介

①氏名 ②身長/体重 ③出身校→学部・学科 ④好き芸 ⑤ひとこと

2 回生チームスタッフ



- ①石坂生菜
- ②
- ③高津→商
- ④新田真剣佑

⑤毎日一緒にいても飽きないぐらいにみんな面白いので是非！
マネージャー初めての人も大歓迎です！



- ①高村恵理
- ②
- ③高津→生科・居住
- ④小栗旬

⑤皆さんがラグビー部に来てくれるのを待ち望んでいます！
ラグビー部に入って充実した大学生活を共に臨みましょう！



- ①野々原萌夏
- ②
- ③大手前→法
- ④竹内涼真

⑤ラグビー部は忙しいですが、ひとりひとりのモチベーション
が高くとても有意義な学生生活が送れます！
一緒にラグビー楽しみましょう！



- ①森春乃
- ②
- ③帝塚山→理・化学
- ④オンソソウ

⑤一緒に大学生活をラグビー部に捧げましょう！



- ①芥子舞
- ②
- ③帝塚山→理・生物
- ④伊勢谷友介

⑤ラグビー部ではマネージャー初心者でも先輩たちが一から
丁寧に教えてくれます！
少しでも興味があれば新歓に遊びに来てください！！



- ①大山明音
- ②
- ③帝塚山→工・バイオ
- ④山崎賢人

⑤大学生活をラグビー部で一緒に楽しみましょう！

4 回生チームスタッフ



- ①黒部早紀
- ②
- ③畝傍→商
- ④三船敏郎

⑤明るくて愉快的なメンバーです！

3 回生チームスタッフ



- ①伊藤有由
- ②
- ③宮崎大宮→商
- ④村上信五

⑤ラグビー部で楽しい大学生活を送りましょう(^^)



- ①糟谷文香
- ②
- ③大阪桐蔭→経済
- ④登坂広臣

⑤ラグビー部に入って充実した4年間を一緒に過ごしましょう！！



大学卒業後の 進路

卒部生の主な進路

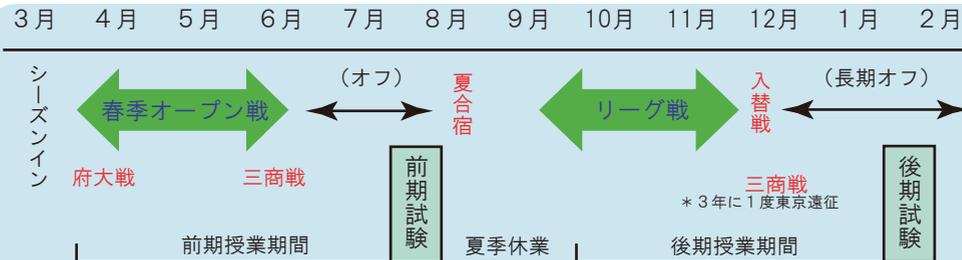
- 商社(伊藤忠商事、三菱商事、三井物産、etc)
- 金融(日本銀行、三井住友銀行、三井住友信託銀行、三菱UFJ銀行、みずほ銀行、etc)
- エネルギー(大阪ガス、関西電力、etc)
- メーカー(トヨタ自動車、旭化成ホームズ、イシダ)
- メディア(日本経済新聞、etc)
- 不動産(フジ住宅、阪急阪神不動産、etc)
- 交通(JR、京阪電鉄)
- ゼネコン(大林組)
- 進学(理系大学院)
- その他(JICA、日本IBM、大阪府警、大学教授、医者)

就職活動とは？

ところで、「就活」とは何か。簡単に説明しておこう。
卒業後は企業で働きたいと考えたとき、入試のような仕組みがあるわけではない。無数にある企業から、興味のある企業を探し出し、入社を希望を伝え、試験を受けさせてもらう。実際はもっと複雑だが、とにかく一人で動くことになる。
では、選ぶ立場になって考えてみよう。就活ができるだけの社会人としての基礎能力を備えていることはもちろんのこと、学生時代の頑張りや気になった。それは、入社後の頑張りなり、考え方に反映されるからだ。
もちろん、体育会に所属していただけで就職がうまくいくほど世の中甘くない。時には反発もしながら、勝利のためにチームメイトと共に考え、行動することを通して、魅力ある人間に成長しなくてはならない。

そして、ビジョンとして持つておきたいのが卒業後の進路だ。大学入学はゴールではなく新しいスタート、とはよく言われること。
4年後の選択肢としては、進学か就職かに分かれるが、資格取得や大学院進学を考慮する場合であっても、その先の就職については気になるはずだ。ここでは、市大ラグビー部の就職状況を紹介したい。
結論から述べると、市大ラグビー部の就職状況は非常に良い。左に卒部生の主な就職先をまとめた。文系の総合職、理系の技術職ともに有名企業が名を連ねており、幅広い分野で活躍していることがわかる。

この理由は3つある。まず、市大自体の評価が高い。次に、一般的にラグビー部の評価がとても高い。そして最後に、市大ラグビー部OBのサポートがしっかりしているからだ。
就職ではいろいろ迷うもの。そんなときに相談のつてくれるOBがたくさんいるのも、市大ラグビー部の魅力のひとつだ。



年間スケジュール

ラグビー部の1年は3月に始まる。3月頭から市大キャンパス内で春合宿が行われる。6月には旧商大(市大、神戸、一橋)間で行われる三商大戦(神戸戦)という定期戦がある。8月には長野の菅平高原での合宿を行い、メインの大会であるリーグ戦に臨む。12月末には三商大戦(一橋戦)が行われ、シーズンを締めくくります。各定期試験の前はオフで、夏は海へ入ったり、3ヶ月間の冬の長期オフでは海外旅行も可能です。この期間に各回生ごとに旅行を行うのがラグビー部の恒例行事である。充実した1年になることは間違いない。

練習時間

活動は基本的に週5回行っている。平日の練習は4限後の17時半からで、火曜だけは1限前の7時20分からだ。土曜日は9時からだ。日曜日は試合が組まれることが多い。授業やバイトで忙しい学生ばかりなので、全体練習は2時間を目標にしている。練習後にバイトへ向かう部員も多く、時間的にも十分可能だ。常に試合につながる課題を意識して、頭を使って濃密で効率的な練習になるように心がけている。
夏の間は、活動のペースはそのまま、毎回午前中に練習をしている。午後は十分な時間があるのでアルバイトや資格の勉強なども可能だ。



一週間の例 (学校のあるとき)

月	火	水	木	金	土	日
OFF	練 7:20 ~ 8:30	練 17:30 ~ 19:30	OFF	練 17:30 ~ 19:30	練 9~11	練 9~11 or 試合

創部100年の遺伝子

OB会広報 杉本敬一氏（昭和62年卒）

アジア初のラグビーワールドカップ

2019年アジアで初となるラグビーワールドカップ（第9回）が日本で開催されました。この大会は出場者総数170万人。テレビ視聴者数は日本代表戦に限っても8700万人と開催国の日本は勿論のこと世界中のラグビーファンや、スポーツ関係者にも大きな驚きと称賛をもって締めくくられる大会となりました。

〈大会前の懸念〉

これまでラグビーのワールドカップは競技発祥国のイングランドを中心にした英連邦と、その加盟国であったNZ、豪州、南ア、そして欧州大陸側の強国フランスを持ち廻って開催されてきましたが、この大会は初めてそれら地域以外で開催される大会となりました。ラグビーワールドカップは五輪、サッカーワールドカップに次ぐ規模のスポーツイベントであることは大会期間中、度々取り上げられ周知に至りましたが、それだけにスポーツ・ビジネスとしての大会の成否は大会前にはたいへん懸念される点でもありました。実際この大会前の開催国日本での大会に関する認知度はチケット発売開始前の2018年12月時点では50%台後半に留まっています。その後、日本以外の国々からの応募が殺到しているというニュースが流れ始めた2018年9月に約70%まで上昇したものの、体感としては大会直前の夏に行われたパシフィックネーションズカップで、日本代表が世界ランク上位のフィジーに完勝を収めるまで決して、その位置付けまで含めた深部まで認知されているとは言えない状況だったと思います。このように開催国におけるラグビーへの関心は近年特に若い人たちの間では、逆に「マイナー」競技としての認知としてあり、大会関係者の不安も納得のいくものでした。

〈大学クラブの役割〉



↑ラグビー部創設者八木文之助

スポーツとしての認知度、人気度としては長らく低迷に喘いできた日本ラグビーですが1980〜90年代には特に関東の早慶明、関西の同志社・京産大・大体などの大学生の試合、そしてその大学時代のスター選手たちを擁した神戸製鋼などの試合は多くの観客が集まりました。特に関東の早稲田大学、明治大学のぶつかる早明戦は徹夜でチケット入手に奔走するほどのブランチカードでした。

時には、その乗艦であるレナウン号の乗組員と試合をした。』との記述もあり、当時それほど多くなかったであろう国際交流の機会も与えられた存在であったようです。また確認出来る当時の記録では、創部翌年の1921年（大正10年）に三高と対戦。0-47と敗れるも、翌年に出場した全国高専大会で決勝に進出、再び三高に対するも0-3で惜敗。またその翌年の1912年には、大阪で開かれた第6回極東選手権競技大会（極東オリンピック）にも参加するなど活発に活動していたことが分かります。創部中心メンバーであり、創設者として伝わる八木文之助は後に従軍した際、軍医の外科手術の失敗により夭折してしまいましたが、その執刀ミスを知っていないながら最期までそれを責めること無く、自身の死を受け入れたと言われています。この姿勢はまさにクラブの部歌の一節（部歌（1） Though the referee is right or wrong, We will win or go down fighting to the end.）を体現するものであり、現在も大阪



↑大正14年卒業式

市立大学ラグビー部のクラブ理念の柱のひとつになっています。そしてこの姿勢はかつて、八木精神、という言葉で広く日本のラグビー関係者の間と知られた様で、ラグビー関係の史料にあたる点から当ラグビー部は黎明期の関西・日本ラグビーの発展初期段階において一定の役割を果たしてきたものと言えるでしょう。

〈大阪府立大学ラグビー部としての活動〉

総合大学としての大阪府立大学は1949年（昭和24年）に開設され、同時にそれまでの大阪商科大学（昭和3年に大阪高商より改称）ラグビー部は大阪府立大学ラグビー部として活動を開始することになります。昭和30年代には同志社、関学、立命、天理等、現在も強豪として名を連ねる各校とは定期的な毎年ゲームは組まれていましたが、関西大学ラグビーがリーグ制となつた1962年（昭和37年）、大阪府立大学ラグビー部はBリーグ（10校）からスタートすることとなり、初年度は大経大との同率3位で終えたという記録があります。

その後もB或いはCリーグの時代が続きますが、1984年（昭和59年）Bリーグ準優勝となりAリーグ7位の近畿大学と入れ替え戦を戦います。残念ながら昇格は果たせませんでした。それ以前の数シーズンのBリーグでの戦績は安定的に上位に位置し、学生主体で活動をしている公立大学ながら一定の戦力を保つことが出来ることを証明していました。その後数シーズンのCリーグ時代も経ながら、1993年〜1994年の2シーズンは当時、日本の大学ラグビー界を牽引する勢力

（旧国立競技場の観客動員数の最多記録は先の東京五輪開・閉会式を除いては1982年12月のラグビー関東大学対抗戦の早明戦です。）その時代の活況は個々の大学に个性的な人気選手が輩出されたことがその背景にあったことは確かですが、各地の大学クラブが日本ラグビーの発祥、発展、そして継承を支えてきたことと無縁ではないでしょう。

〈日本ラグビーの黎明と関西ラグビー〉

日本のラグビーは1899年（明治32年）慶応義塾大学のE・B・クラーク教授によって同校塾生に指導されたことがその発祥です。その後長らく日本人によって構成されたチームは存在しなかったと言われていますが1910年に旧制高等学校（三高）、1911年に同志社大学にラグビー部が誕生しています。以降、同志社中学や京都一中、京都一商などにその存在が認められますが、いずれにしても慶応大学での創部以降の黎明期においては日本のラグビーは関西、特に京都を中心に発展してきたものと考えられます。

〈大阪に初めて誕生したラグビー部〉

現在の大阪府立大学ラグビー部に連なる学生クラブは、市立大阪高等商業学校（大阪高商）において1920年（大正9年）に創部されました。この設立は早稲田大学（1918年）に遅れること僅か2年、東京帝大（1921年）、明治大学（1923年）の創設よりもひと足早く、日本における最古の大学クラブのひとつと言えます。この大阪高商ラグビー部は先述した京都一商ラグビー部の創部に関わった八木文之助が卒業後に進学した南区天王寺烏ヶ辻（当時）の大阪高商にて、同じく京都一商出身の藤野嘉蔵（後に東京商科大学）現在の一橋大学ラグビー部を創設。関東協会理事も務める。波多野喜一、岡本繁三郎らと創部したものです。明治・大正期にラグビー界で活躍した田辺九萬三氏（慶応大学）による寄稿『私とラグビー』（1949年発行『月刊ラグビー』）に『これは大阪の学校で初めて生まれたラグビー部』であり『桃谷の大阪高商はあたかも関西ラグビーのホームグラウンドのようであった』との記述があるように、黎明期の関西ラグビーひいては日本ラグビーの礎を築く役割の一端を担っていたと言えるでしょう。そしてその寄稿文には『創立当時の技術をマスターしてなかなか纏まったチームとなりプリンスオプウェールズが日本に來れ

↓第一回卒業生



でもあった同志社大学や京産大も属する念願の関西大学リーグで戦います。この2シーズンは結局1勝も挙げることが出来ませんでした。それでも部員の獲得にさき苦勞するような公立大学のリーグでの戦いはクラブのOBはもとより、他の国立大学で日々切磋琢磨する学生たちに勇気を与えていたことは間違いありません。

〈創部時から受け継がれる存在意義〉

現在の大阪府立大学ラグビー部は、それでもやはり「関西国立最強」という目標を掲げ、Aリーグはもとより、B、Cといったレベルにまで、大学挙げての後押しでの強豪高校からの部員や留学生の獲得による戦力強化を図る私学勢と伍して戦える集団を目指しています。

このクラブには専属のフルタイムコーチは居ません。普段は授業を終えた後、或いは授業前にキャプテンを中心とした学生幹部が主体となり練習に励みます。練習内容やゲームの戦略、戦術などは、OBやその関連する有志の方々が手弁当でしかも毎週末、自身の私生活のある犠牲性にして学生たちと時間を共にし、創意工夫を重ねて積み上げていきます。クラブとしてのその行き方は100年前に烏ヶ辻に産声を上げた創部当時から変わらぬものではないかと思えます。そしてその当時のそのクラブが、黎明期の日本ラグビーを支えた礎のひとつとして「関西ラグビーのホームグラウンドであった」ように、この行き方にこそ、このクラブの存在意義があるのだという確信が生まれます。このクラブはこれから先の10年、20年、50年、100年もこれまでと変わらぬままに営々と続いて行きます。これまでこのクラブの歴史を繋いできた諸先輩方がそうであったように、これから先のその歴史を紡ぐ主役となるのが新入生の皆さんです。経験者、未経験者を問いません。様々な場面で、誰にでも活躍の可能性が開かれています。それもこのクラブの創部以来の遺伝子です。ぜひ一度グラウンドに足を運んでみてください。

↓昭和23年10月24日、対同志社(0-40)負（於西宮第1グラウンド）



部歌一

On the football field we stand
Neath the goalpost tall and grand
Ever ready at the call to do or die
Though the foe be twice as strong
Though the ref be right or wrong
We will win or go down fighting to the end.

(Refrain)

Down,down,down the scrum is forming
Shove,shove,shove the ball is out.
Every one is on the move so it's now the time to prove
Shodai' ll win or go down fighting to the end.

部歌二

烏が丘に秋立ちて
生駒紅葉に映ゆる時
あ、ラガーの血は萌えて
黒雨白雪思う時
あ、緑烏の気は奮い
仇敵脳裡に往来し
備えの鍛錬尚熟す

部歌三

生駒おろしに冬来たりなば
城南健児の血汐は燃ゆる
血汐は燃ゆる
大和の流れは吹雪の凍れど
球蹴る我等の熱にぞ融ける
熱にぞ融ける
粉雪さなかに球取り走る
気概は之ぞ武士道の意気
武士道の意気
大阪商大ラグビー
大阪商大ラグビー

